

会派調査（研修）報告書

令和 5年 2月 6日

胎内市議会議長
小野 徳重 様

(報告者) 会派名 公明党

代表者名 渡辺 栄 六

会派調査(研修)について、下記のとおり報告します。

調査・研修 日 時	自 令和 5年 1月 31日 至 令和 5年 2月 1日 1泊2日 (2日間)	調査・研修 場 所	栃木県宇都宮市 栃木県鹿沼市
調査・研修 事 項	宇都宮市 鹿沼市 商工会議所	自転車のまちづくりについて 自転車レース大会の開催に至るまでの経緯・道のりなど イベントの運営の方式と市の関わり方 つばさプランの取り組みについて (教習に不安のある方の運転免許取得をサポートする)	
調査・研修 出 席 者	渡辺栄六 (政和会) 天木義人 小野徳重 森本将司 坂上隆夫		
相 手 方 (対応者)	宇都宮市 : 副議長 舟本 肇 鹿沼市 : 鹿沼自動車教習所 商工会議所 鹿沼自動車教習所	都市魅力創造課 議会事務局書記 代表取締役 専務取締役	蓼沼 秀明 佐藤 真莉乃 古澤 正巳 佐藤 孝典

調査の結果または概要

【宇都宮市】 宇都宮といえば、餃子のまちやジャズのまち、カクテルのまちそして、自転車のまちで有名である。1990年に「世界選手権自転車競技大会ロードレース競技」がアジアで始めて開催されたことを記念して創設され、1992年にジャパンカップサイクルロードレース第1回大会を宇都宮市で開催した。距離の短いコースを周回するレース「ジャパンカップクリテリウム」を新たに開催するほか、未就学児を対象とした「キックバイク大会」など幅広い世代の方々が楽しめる付帯イベントを多数実施し、近年では大会期間を通して13万人以上の来場者が訪れるなど、地域経済の活性化や交流人口の増加に大きく寄与している。

【鹿沼市】 「つばさプラン」とは発達障害や軽度知的障害のある方など、教習に不安のある方の運転免許取得をサポートするプランである。「免許があれば社会でみんながもっと輝けるのに、どうしてサポート体制がないのだろう？」そんな思いから、このプロジェクトはスタートした。宇都宮大学との産学連携として2016年、“社会へ羽ばたくつばさになるように”と願いを込めて「つばさプラン」と命名し、プロジェクトは本格的に始まった。個別の教習計画を作成し、一人ひとりに合わせた教習スケジュールを提案。また、教育や福祉に関する専門職員のコーディネーターが教習生活をサポートしている。2022年12月末現在での実績は卒業生413名で免許取得率は94.4%である。

調査の所見・感想

【宇都宮市】 ジャパンカップ開催の成果として、2019年大会で28億1千万円の経済効果が算出され、観戦者数は13万2千人と年々、宇都宮市を訪れる恒常的なサイクリストの増加となっている。まさに宇都宮市の経済の活性化や、シビックプライドの醸成、「自転車まち」としてのブランド力の向上、サイクルスポーツの振興に大きく寄与していることに驚愕した。本市においては「ツールド・胎内」としてサイクルイベントを開催しているが、さらなる来訪者の増加や、経済の活性化に繋がるイベントになるよう宇都宮市の取り組みにヒントがあると思われた。

【鹿沼市】 「つばさプラン」卒業生の保護者からは、近隣の教習所では免許証が取得できず、生活の部分でも乱れ始めていたが、2か月間で免許証を取得し、さらにボランティア活動を通じて人間性が豊かになって帰ってきた。今では結婚もし、子どもも授かり独り立ちを始めたが、免許証が有るということはこれからの人生にも最大の武器になると思う。とのメッセージが寄せられた。現在、「運転免許 つばさプラン」全国での参加校は11社、20校であり、“誰ひとり取り残さない”共生社会実現のため、「つばさプラン」加盟校がさらに全国に拡大できるよう期待する。